

事務事業実績測定調書

R4調書番号 797

事務事業名称	決算関係事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	会計課			課	会計課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	議会、市民			
	サブターゲット	市職員			
	ターゲットが抱える課題	歳入歳出予算の執行の実績や市の財政状況が明らかにされなくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	決算書等を議会、市民に公表し、市の財政状況がいつでも知り得る状態。				
事業概要	一会計年度における歳入歳出予算の執行の実績や収支状況を明らかにするため、決算を調製する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			決算書等を通じて市の財政状況を明らかにし、市民等に公表している。				適正な収入と支出を通じて、決算を調製する。				
指標設定	指標説明		一般会計及び各特別会計のうち、議会の決算認定を受けた会計数				決算を調製した会計数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		8	7	7		8	7	7	
	達成度		100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.70
再任用	0.08
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.16
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,071	6,020	5,871		
	会計年度任用職員	8,286	228	333		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,357	6,248	6,204		
	物件費計	688	671	632	700	90.3%
	歳出計	15,045	6,919	6,836		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	688	671	632	700	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度の決算を調製し、歳入歳出決算書(実施収入に関する調査・歳入歳出決算事項別明細書・財産に関する調査を含む)及び決算概要説明書を編纂した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も正確に、効率的かつ効果的な決算書等の調製作業に努める。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 798

事務事業名称	出納事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	会計課			課	会計課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	債権者、債務者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	債権、債務を確実に履行できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	正確かつ迅速に債権、債務を履行している状態。				
事業概要	①現金(有価証券を含む)の出納、保管及び記録管理 ②小切手に関すること ③物品管理 ④公金取扱契約(指定金融機関)に関すること ⑤一時借入金に関すること ⑥財政資金の需給計画の策定 ⑦財産の記録 ⑧基金の管理、運用及び記録管理 ⑨枚方寝屋川消防組合における出納事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						市の歳入・歳出を確実に収入・支出できている。				出納事務を円滑に実施する。			
指標設定	指標説明					歳入を正確に歳入科目ごとに収入し、歳出を正確に正当債権者に支出できた件数				収入及び支出の処理件数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					単位 件				単位 件			
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					1,810,000	1,810,000	1,810,000	1,810,000	1,810,000	1,810,000	1,810,000	1,810,000
達成度					96%				96%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	24,723	24,357	24,217		
	会計年度任用職員	4,318	4,575	4,539		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	29,041	28,932	28,756		
	物件費計	1,270	838	805	5,885	13.7%
	歳出計	30,311	29,770	29,561		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	137	100	66	98	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	137	100	66	98	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	739	5,787	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>日々のお納事務や基金の管理・運用については適正に実施するとともに、懸案課題の一つであったゆうちょ銀行における小切手による資金交換の方法を他行と同様の手法に移行させた。また、納付書による窓口収納辞退や収納代理金融機関辞退の申出への対応として、庁内検討を踏まえ市としての方向性の合意に至った。結果、令和5年3月31日をもって三井住友信託銀行は収納代理金融機関の業務を終了した。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>法令に基づき、お納事務を適正かつ効率的に実施するとともに、お納や資金移動に必要なシステムを稼働させるための新しい回線利用への円滑な移行を目指す。また一部収納代理金融機関が納付書による窓口収納を終了するため、丁寧な周知に努める。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 799

事務事業名称	審査事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	会計課			課	会計課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各課の支払い事務等に関与する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	支出に関する書類の不備や不適切な支払いの発生を防止できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各課が支出に関する事務を適切に遂行し、正当債権者への債務を確実に履行できる状態。				
事業概要	①支出負担行為の確認に関すること ②収入及び支出命令書の審査に関すること ③枚方寝屋川消防組合における審査事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						市の債務を確実に履行するための支払準備が整っている。				審査事務を円滑に実施する。				
指標設定	指標説明					審査を終え、支出の処理に進んだ支出命令の件数				支出命令の件数				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
	達成度					90%				90%				
	単位の件					単位 件				単位 件				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.20
再任用	0.64
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	29,426	29,302	28,221		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	29,426	29,302	28,221		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	29,426	29,302	28,221		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>公金の支出収入の方法など多様化、複雑化している中、支払過誤が発生しないよう厳正な審査を実施した。また、令和5年10月1日からインボイス制度が導入されるため、適格請求書発行事業者の登録申請をするなど準備を進めた。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>適切な提出書類になるよう各課担当者に対し助言等を行い、適正かつ効率的な審査業務を引き続き実施していくとともに、インボイス制度に円滑に対応するため、請求書の記入方法など適切な庁内周知に努める。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 908

事務事業名称	会計課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	会計課			課	会計課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	会計課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	会計課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課内の庶務事務が適正に実施され、会計管理者及び会計課の事務が円滑に運営されている状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.08
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	8,463	8,377	8,215		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,463	8,377	8,215		
	物件費計	12,356	12,422	12,041	17,064	70.6%
歳出計		20,819	20,799	20,256		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	8,168	8,168	7,425	10,602	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	8,168	8,168	7,425	10,602	
一般財源（物件費に充当されるもの）		4,188	4,254	4,616	6,462	

5. 総括的分析

総括的分析	課内の庶務事務を適切に実施し、会計課の事務を円滑に運営した。
-------	--------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	健康経営の推進の趣旨に鑑み、職員の健康保持及び適正な事務処理に努める。